

②

H24.1.14(土) 野田内閣改造後

金田勝年氏(自民・衆院比例東北) 問責決議の閣僚とその恐れのある閣僚を代えたが相変わらず政権担当能力のない内閣。政治の信頼と国益は回復できない。この3年間は公約を守らず説明不足の連続。一体改革素案も年金など公約を盛り込まなかった。ぶれる政治で改革は不可能。

①

H23.8.30(火) 民主党代表選後

自民党の金田勝年氏(衆院比例東北)は「課題山積の中、2代続けて財務相の民主党代表就任。政策遂行の財源が大切ということだろう」と指摘した上で、「公約で財源はいくらでも出ると言って政権交代を果たしたが、今や増税路線だ。自民党が総選挙から3人目の総裁を選ぶ際は『民意(選挙)を経ている』と批判しておきながら、自ら3人目の代表を選んだことと併せ、民主党の言行不一致の体質を立証した」と批判した。

④

H24.4.27(金) 小沢氏判決後

金田勝年衆院議員(自民、比例東北)は「財源もなく公約を実現できない与党・民主党の中で(小沢氏の復権により)路線の対立が激しくなり、何も決められない、進まない政治がますます横行するのではないか。政権担当能力のなさをおらためて露呈することになるだろう」と話した。

③

H24.3.31(土) 消費税増税法案閣議決定

金田勝年氏(自民・衆院比例東北) 公約に無い消費税増税を先行させ一体改革の中身の社会保障の全体像は先送り。前提の景気回復も条件となっていない。加えて民主党内をまとめ切れず、連立も危うい。こうした中で与野党協議で野党に抱きつくやり方は責任感が無く力不足。今の状態では、国民に増税をお願いする条件は整っていない。

⑥

H24.6.27(水)

社会保障と税関連法案衆議院採決後

金田氏は「内閣提出法案で野党に抱き付くのは情けないが、日本が危ういので応じた修正協議で、できもしない公約を民主党が事実上撤回し自民党の社会保障の考えを受け入れたから賛成した。だが増税は民主党の公約にない。法案成立後、解散総選挙で国民の信を問うべきだ」とした。

⑤

H24.6.5(火) 第二次野田内閣改造後

金田勝年氏(自民・衆院比例東北) 1月に続く問責閣僚とその予備軍の交代は人事の再度の失敗。国会の空転を招き遅きに失した。消費税増税に前のめりで景気対策や一体改革の社会保障の中身も示せず与党として無責任。党内を仕切れず野党に抱きつくやり方は相変わらずで情けない。